

地層処分技術に関する研究開発報告会
－第2次取りまとめ以降の研究開発の進展と今後の展開－
ご案内

日本原子力研究開発機構では、高レベル放射性廃棄物の地層処分技術に関する研究開発について、瑞浪(岐阜県)や幌延(北海道)の深地層の研究施設等を活用しつつ技術的信頼性の向上を目的とした研究開発を進めております。

この5月に政府が7年ぶりに改定しました最終処分の基本方針におきましては、地層処分の技術的信頼性に関する専門的な評価が国民に十分には共有されていない状況を解消していくことの重要性が指摘されています。また、地層処分に関する知識を普及し、国民の関心を深めるため、積極的な情報提供等に努めることの必要性も指摘されています。こうした指摘も踏まえ、1999 年に取りまとめた「地層処分研究開発第 2 次取りまとめ」以降の研究開発の成果と今後の展開の紹介を目的とした報告会を開催することといたします。つきましては、皆様方のご意見を頂きたく、ご多用とは存じますが、是非ご参加くださいますようお願い申し上げます。

記

1 開催概要

- (1) 日 時:平成 27 年 7 月 14 日(火) 13:00～16:30 (受付開始 12:00)
- (2) 会 場:コクヨホール(東京都港区港南 1-8-35)
- (3) 定 員:250 名程度(事前登録制)
- (4) 参加費:無料
- (5) 主 催:国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

2 プログラム

時 間	内 容	登壇者
13:00～13:05	開会挨拶	理事 大谷 吉邦
13:05～13:50	基調講演 「地層処分事業と研究開発」	原子力発電環境整備機構 理事 梅木 博之
13:50～16:00	地層処分技術に関する研究開発の現状 －概況 －地質環境の長期安定性 －深地層の研究施設計画 －処分システムの工学技術と安全評価手法の高度化 (途中 15 分程度の休憩を含みます)	地層処分研究開発推進部長 宮本 陽一 東濃地科学センター ネオテクトニクス研究グループリーダー 梅田 浩司 幌延深地層研究センター 深地層研究部長 伊藤 洋昭 核燃料サイクル工学研究所 基盤技術研究開発部長 亀井 玄人
16:00～16:30	全体質疑 (会場との意見交換を行います)	

発表順および時間配分、発表者は当日までに変更となる場合がございます

3 参加申し込み方法

参加をご希望の方は、氏名(フリガナ)、所属、連絡先を明記のうえ、7月9日(木)までに電子メールにて報告会事務局宛てにお申し込みください。なお、申し込みの受け付けは先着順とし、定員に達し次第、締め切りとさせていただきますので予めご了承ください。受け付け手続きが完了いたしましたら、事務局より電子メールにてご連絡いたします。

報告会事務局

日本原子力研究開発機構 バックエンド研究開発部門

地層処分研究開発推進部 処分システム研究計画推進課

担当: 山口、能登屋

〒319-1194 茨城県那珂郡東海村村松 4-33 (核燃料サイクル工学研究所)

電話: 029-287-3247

電子メール: chiso-houkokukai2015@jaea.go.jp

ホームページ: <http://www.jaea.go.jp/04/tisou/toppage/top.html>

※ご記入いただいた個人情報は、本報告会運営以外には使用いたしません。

※会場内を撮影した写真は、日本原子力研究開発機構のホームページなどに掲載される場合がございます。予めご了承ください。

4 会場周辺図



コクヨホール

(東京都港区港南 1-8-35)

URL : <http://www.kokuyo.co.jp>

電話番号: 03-3450-3712